

2022年度  
入学試験問題

国語

2月1日 午前

受験番号	氏名

中村中学校



問題は次のページからです。

□ 次の(1)～(10)の——線のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- (1) 細かい文字の書類をカクダイしてコピーする。
- (2) 五月三日はケンポウ記念日だ。
- (3) 太平洋エンガンには工業地帯がある。
- (4) 音楽祭への出演をジタイする。
- (5) 今年度新しくレンメイに加入した。
- (6) 全員がコウドウに集合した。
- (7) 生まれコキヨウをなつかしく思い出す。
- (8) 勉強をスませてから遊びに行く。
- (9) 畑をタガヤすのに、くわを使う。
- (10) 他人の欠点をセめるのはやめよう。

二 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(設問の都合上、本文を改変、省略したところがあります。)

\* 字数指定のある問題については、句読点・記号も字数に数えます。

皆さんは、「オナモミ」という雑草を知っていますか。

トゲトゲした実が服にくつつくので「くつつき虫」という別名もあります。子どもの頃に、実を投げ合つて遊んだ人もいるかもしれません。

オナモミの実は知っていても、この実の中を見たことのある人は少ないのではないのでしょうか。

オナモミの実の中には、やや長い種子とやや短い種子の二つの種子が入っています。

二つの種子のうち、長い種子はすぐに芽を出す屋さんです。一方の短い種子は、なかなか芽を出さないの①んびり屋さんです。

オナモミの実は、性格の異なる二つの種子を持っているのです。

それでは、この a 屋の種子とのんびり屋の種子は、どちらがより優れているのでしょうか。

そんなこと、わかりません。

早く芽を出したほうが良いのか、遅く芽を出したほうが

良いのかは、場合によって変わります。

「善は急げ」というとおり、早く芽を出したほうがいい場合もあります。しかし、すぐに芽を出しても、そのとき

の環境がオナモミの生育に適しているとは限りません。急いで事は損じる」というとおり、遅く芽を出

したほうがいい場合もあります。だから、オナモミは性格の異なる二つの種子を用意しているのです。

雑草の種子の中に早く芽を出すものがあつたり、なかなか芽を出さないものがあつたりするのも、同じ理由です。

早いほうがよいのか、遅いほうがよいのか、比べることに何の意味もありません。オナモミにとっては、どちらもあることが大切なのです。

芽を出すことが早かつたり遅かつたりすることは、雑草にとつては、優劣ではありせん。雑草にとつて、それは個性なのです。

しかし、早く芽を出すものがあつたり、遅く芽を出すものがあつたりすると、いろいろと不都合もありそうです。

芽を出す時期は揃っているほうが良いような気がします。バラバラな個性って本当に必要なのでしょうか？

バラバラな性質のことを「遺伝的多様性」といいます。

個性とは「遺伝的多様性」のことです。多様性とは「バラバラ」なことです。

しかし、<sup>③</sup> どうしてバラバラであることが良いのでしょうか。

皆さんは、学校で答えのある問題を解いています。問題には正解があり、それ以外は間違いです。

ところが自然界には、答えのないことのほうが多いのです。

たとえば、先に紹介したオナモミに代表されるように、雑草にとつては、早く芽を出したほうがいいのか、遅く芽を出したほうがいいのか、答えはありません。

早いほうがいいときがあるかもしれませんが、じつくりと芽を出したほうがいいのかもありません。環境が変われば、どちらが良いかは変わります。どちらが良いという答えがないのですから、「どちらもある」というのが、雑草にとつては正しい答えになります。

だから、雑草はバラバラでありたがるのです。どちらが、優れているとか、どちらが劣っているという優劣はありません。むしろ、バラバラであることが強みです。

そして、すべての生物は「遺伝的多様性」を持っているのです。

じつは人間の世界も、答えがあるようで、ないことのほうが多いのです。

本当は何が正しくて、何が優れているかなんてわからないのです。「もつと早くやりなさい」とスピードを評価してみたかと思うと、「もつとていねいにやりなさい」とゆっくりやることを褒めだしたりします。

人間の大人たちは答えを知っているようなフリをしています。そして、優劣をつけてわかったようなフリをしています。「これは良い」とか、「それはダメだ」と言っています。しかし、何が優れているかなんて、本当は知りません。いや、本当は、どれが優れているということはないのです。

それを知っているからオナモミは、二つの種子を持っているのです。

しかし、不思議なことがあります。先に書いたように、自然界では多様性が大切にされます。それなのに、タンポポの花はどれもほとんど黄色です。

紫色や赤い色をしたタンポポを見かけることはありません。タンポポの花の色に個性はありません。これはどうしてなのでしょう。

タンポポは、主にアブの仲間を呼び寄せて花粉を運んでもらいます。アブの仲間は黄色い花に来やすい性質があります。そのため、タンポポの花の色は黄色がベストなのです。

黄色が一番いいと決まっているから、タンポポはどれも黄色なのです。

しかし、タンポポの株の大きさはバラバラです。大きなタンポポもあれば、小さなタンポポもあります。葉っぱの形もさまざまです。ギザギザに深く切れ込んだ葉っぱのものもあれば、切れ込みのない葉っぱのものもあります。

どんな大きさが良いかは環境によって変わります。葉っぱの形も、どれが良いという正解はありません。

そのため、タンポポの大きさや葉っぱの形は個性的なのです。

個性は当たり前のようにあるわけではありません。個性は生物が生き残るために作り出した戦略です。個性がある

ということ、つまりはなぜバラバラであるかといえ、そこに意味があるからなのです。

人間はどうでしょうか。

目の数はどうですか？

目の数は誰もが二つです。これは人間にとって目の数は二つがベストだからです。同じように鼻の数にも、鼻の穴の数にも個性はありません。おそらく人間にとって鼻一つ、鼻の穴は二つが一番良いのです。

目の数や鼻の数には個性はありません。

動物の目の数が二つなのは当たり前ではないかと思うかもしれませんが、そうではありません。たとえば、多くの昆虫は二つの複眼の他に、三つの単眼という目があります。つまり、目が五つあるのです。

はるか昔の古生代の海には、目が五つの生き物や、一つ目の生き物も存在していました。しかし今、私たち人間の目の数は二つです。それは、目の数は二つがもつとも合理的で「目の数に個性はいらない」というのが進化の結論だったからなのです。

しかし、私たちの顔はみんな違います。誰一人として同

じ顔はありません。垂れ目の人もいます。つり目の人もいます。目の大きな人もいます。目の小さな人もいます。もし、人間にとってベストな顔があるのであれば、誰もがその顔をしているはずです。

いろいろな顔があるということは、どの顔が良いとか悪いとかではなく、いろいろな顔があることに価値があるのです。

性格も一人ひとり違います。得意なこと人もそれぞれ違います。

生物は必要のない個性を持ちません。私たちの性格や特徴ちように個性があるということは、その個性が人間にとって必要だからです。

ちなみに、自然界では花の色にバリエーションはありません。タンポポは黄色ですし、スミレは紫色です。昆虫を呼び寄せて花粉を運んでもらう野生の植物では、パートナ―となる昆虫を呼び寄せるためのベストな色があります。

ところが、花屋さんで売られている花や、花壇かだんの花は、同じ種類でも色とりどりです。

115

120

125

130

それは、人間が花を楽しむために品種改良をしているからです。同じ色の花ばかりよりも、さまざまな色の花があったほうが、きれいです。そのため、人間はさまざまな色の品種を作り出しました。本当は人間も、「いろいろあること」の素晴らしさすばを知っているのです。

（稲垣栄洋『はずれ者が進化をつくる

生き物をめぐる個性の秘密』筑摩書房）

135

問一

□ a に入る語として、適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア、うっかり                      イ、わからず  
ウ、せっかち                        エ、がんばり

問二

—— 線①とありますが、それはなぜですか。  
四十字以内で答えなさい。



問三

~~~~~線A、Bのことわざについて、次のア〜エ

はA、Bどちらの場面を表していますか。記号で答えなさい。

ア、遠足の日<sup>すいとう</sup>にねぼうしてしまった。あわてて家を出

たら水筒<sup>すいとう</sup>を忘れてしまった。

イ、二人三脚<sup>ににんさんきやく</sup>のよい方法を思いついた。それをさつ

そく練習に取り入れた結果、運動会で一位をとることができた。

ウ、近くのお店で一週間セールを行っている。買った

い物があったので、すぐにお店に行つて無事買うことができた。

エ、今日の宿題を五分で終わらせたが、答え合わせを

したら全部間違えていた。早さを重視しすぎたので、ていねいにやろう。

問四

——線②「優劣」とありますが、同じ構成の熟

語を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、登山                   イ、開閉

ウ、流水                   エ、未来

問五

——線③とありますが、その理由を「自然界」

と「人間の世界」に共通していることをふまえて説明しなさい。

問六

タンポポと人間のそれぞれにおいて、多様性がある

ものとなないものを具体的にあげなさい。

問七 花の色に関する次の問いに答えなさい。

(1) 植物にとって一番いい色があるのはどのような目的のためですか。文中の言葉を用いて三十字以内で答えなさい。

(2) 自然界に本来ない色の花が売られているのはなぜですか。文中の言葉を用いて二十字以内で答えなさい。

問八 ———— 線④とありますが、あなたが実際に多様性のすばらしさを感じた経験について答えなさい。  
また、なぜすばらしいと感じたのか理由を述べなさい。

【三】 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(設問の都合上、本文を改変、省略したところがあります。)

\* 字数指定のある問題については、句読点・記号も字数に数えます。

中学二年生の桐山加奈太は夏休みに父親である桐山征人の実家がある天徳島を訪れた。そこで、桐山征人の同級生である孝俊(タカさん)が主催するキャンプに参加することになり、同じ中学二年生の海江田竜一、大垣至、栗木裕也、川口ミラクル、平林光圀と出会い、キャンプを通して交流していく。以下は、海江田竜一、大垣至、栗木裕也の三人(サッカー部トリオ)と川口ミラクル、平林光圀、桐山加奈太の三人が仲違いをしている場面である。

「なあ、これ、絶対わざとだろ」

「あきらかにそうやろな」

シャワー室の惨状を見て、おれとミラクルは顔を見合  
わせた。① 大きなため息が出る。

「え、でも……」

「なんや、光圀」

5

「もしかして、豚が入ってきたのかもしれないよ」

「はあっ!？」

おれとミラクルで声をそろえて、光圀を見る。

「豚ってなんだよ? 豚がどこにいるんだよ」

頭を振って言うと、光圀は自分が言い出したにもかかわ  
らず、

「ぼく、豚って呼ばれることある……」

と、悲しそうな声を出した。

「とりあえず掃除せな、な」

おれたちがいるのはシャワー室だ。昨夜使ったときは変  
わりなかったから、今朝やったのだろう。もちろんサツカ  
ー部トリオの仕業に違いない。床は泥だらけで、タオル  
やら雑巾やらも泥まみれのぐじゃぐじゃになって、そこら  
じゅうに散らばっている。

「わざわざ外から土を運んだんやろな」

「朝飯食ったあとの、ほんの少しの時間にやったんだ。つ  
たく、こんなことにどんだけの労力使ってた?」

「その労力をほかに使えっちゅうねん。見てみ。壁に見事  
な手形までついとるわ。アホはほんま、おっとりしいわ」  
「ふつう、こんなこと思いつかないよね。すごいよねえ。」

25

20

15

10

感心しちゃう」

おれとミラクルは脱力だつりよくして、光圏を見た。② そんなことを言う光圏もふつうじゃないだろう。

三日目の朝。今日の掃除はおれたちの番だ。それがわかっただうえでの、サッカー部トリオの作業だろう。こんなことをしてなにがおもしろいのか、さっぱりわからない。なぜこれほどまでにおれたちに突っかかってくるのか、意味不明だ。

「昨日の加奈太のことが、相当悔くやしかったんちゃうか」 35

「え？」

「ほら、広場であいつらに会うたやないか」

ミラクルに言われて、ああ、と思ひ出した。それが理由かと思つたら、あまりのくだらなさに大きなため息が出た。

昨日は午後から天浜てんはまに行つて、おれとミラクルは水遊び程度に海に入った。泳げない光圏は波打ち際で、幼児のようにな波からたのしそうに逃にげていた。

そのあと集落のほうに戻もどつて、宗見港そうみの北側にある広場に向かったところ、サッカー部トリオを見つけた。奴らやつは三人でサッカーボールを蹴けっていた。ボールはタカさんに借りたのだろう。 45

③ めんどく

面倒めんどうなことになりそうだったので、知らんぷりして場所を移ろうと思つたとき、誰だれかが受けそこねたボールがおれの前に飛んできた。おれはそれを条件反射で蹴り返してしまつたのだつた。思いがけず勢いがついて、ボールは栗木の前を猛スもうピードで抜ぬけていった。

「おいっ！なにしてんだよ！勝手に蹴けつてんじゃねえよ！」  
海江田が怒鳴どなつた。大垣も、

「一体どういうコントロールしてんだよっ」

と、声を荒あらげた。コントロールに関してはよかつたはずなので、この場合、なんで栗木はちゃんと止めないんだよ、と言うほうが正解だつたが、海江田も大垣も、まさかの栗木本人まで、どんだけ下手なんだよ！ちゃんと蹴れないのかよ！どこ見てんだよ！と、次々とおれに向かつて文句を言つてきた。

④ 「悪い」

と、おれは頭を下さげた。面倒めんはご免めんだ。

「おい、それで謝あやまつてるつもりかよ」

「謝あやまつてるようには見えないよなあ」

「悪いと思つてるなら土下座しろよ」

サッカー部トリオはそれでも飽き足らず、口々に言いがかりをつけてきた。

「もうええよ。行こ」

ミラクルがおれの背中を押した。

「また逃げるのかよ！」

「弱虫！」

「ちゃんと謝れないなんて、人としてどうなの？」

おれたちは無視して先へ行こうとした。歩き出したとき、いきなり腰に衝撃があった。

「つてえ……」

誰かがボールを蹴ったのだった。サッカー部トリオはげらげらと笑っている。

⑤「すみませーん！ こつちに蹴ってもらえますかあ？ お

願いしまーす！」

海江田が笑いながら叫ぶ。

おれは海江田めがけて、思い切りボールを蹴ってやった。

海江田はとつきに足を出したが、ボールは勢いよくはじけ、

海江田の後ろにいた大垣が、スピードの落ちたボールをワ

ンバウンドさせてから両手でようやくキャッチした。

「口ほどにもない奴らやわ。サッカー部のくせに、ボールもまともに捕れんのかい」

ミラクルがぼそりつぶやき、

「わあ、加奈太すごいねえ！ さすが元サッカー部！ か

つこいい！」

と、光圈が無邪気に大きな声を出した。ミラクルのつぶ

やきは届かなかつたようだが、光圈の声は聞こえたようで、

サッカー部トリオが一斉におれを見た。

「今なんか聞こえたなあ？」

「元サッカー部う？」

「元つてなによ？ ダッセえなあ」

⑥「奴らはさんざんおれをおちよくつて、大きな声でいやらしく笑った。」

「加奈太、気にすんなや。行こ」

「ごめんね。ぼくが余計なこと言ったせいだね……」

「なんの問題もないよ。大丈夫だ。行こう」

サッカー部トリオがあおってくるのを背中で受けなが

ら、おれたちはしずかにその場を去ったのだった。

それからの自由行動では奴らには会わなかったけれど、

⑦センターに戻ってからはずっと険悪な雰囲気だった。互

いにひと言も口を利かずに、三対三にくつきりと分かれた。105  
夕食後のオリエンテーションや、タカさんが提案してくれ  
たゲームも、チーム外の奴がいるとまったく盛り上がりず、  
結局各チームのまま過ぎ、就寝時もお通夜のようなし  
ずけさのまま、それぞれが眠りに就いたのだった。

110  
光圏のいびきは相変わらずの破壊力だったけれど、少  
しだけ慣れた。サッカー部トリオはどこで手に入れたのか、  
ちやつかりと耳栓みみせんをしていた。

それで今朝のこの有様だ。やることが陰湿いんしつだしガキすぎ  
る。

「ほな、まずはこのタオルを洗わなな」

115  
「先に手洗いしてからじゃないと、洗濯機せんたくきに入れられない  
なあ」

おれたちは手分けして、タオルをこしごとと手洗いして  
から洗濯機を回した。スポンジで汚れた壁よじをこすって、床  
を水で流して、排水口はいすいこうにたまった土を掻き出した。

120  
「排水口の奥おく、すぐく汚れてるよ。ついでだからきれいに  
しちゃうよ、ぼく」

光圏が排水口のなかに手を入れて、なにやらどろどろし  
たものを出した。思わず目をそむける。排水口がこんなこ

とになっているとは驚きおどろだった。うちの風呂場ふろばもこんな  
に汚れているのだろうか。それとも、おれが知らないうち  
にお父さんが掃除してるのだろうか。

「おれ、家の掃除なんてしたことなかった。せいぜい部屋  
に掃除機かけるくらい」

「ほんまやなあ、排水口なんてよう触さわらんわ」

「ぼくはたまに手伝うよ。トイレやお風呂場の水回りは、  
いつもきれいにしとかなくちやね」

てきぱきと率先⑧して排水口の掃除をする光圏に、後光⑨が  
差している気がした。

「おお、めっちゃきれいになったやん！」

135  
機敏きびんに動く光圏に触発しょくはつされて、おれとミラクルもはり  
きって掃除をしたせいとか、風呂場は新品みたいにきれいに  
なった。とても気持ちがいい。今晚、シャワーを浴びるの  
がたのしみなほどだ。

「あれえ？ まだ掃除してるんか」

140  
タカさんがシャワー室に顔をのぞかせ、ぴかぴかじやな  
いか！ と、完璧かんぺきな仕上がりを見て喜んだ。

「掃除をちゃんとやる人間は、みんなから信用してもらえ  
るよ」

そうやって、おれたちの頭をぐりぐりとなで回した。ま<sup>c</sup>んざらでもない気分だった。

身<sup>み</sup>支<sup>じ</sup>度<sup>たく</sup>をして外に出ようとしたとき、タカさんがおれを

じつと見つめているのに気が付いた。おそらく、サツカー部トリオのことを心配しているのだろう。おれは、タカ

さんに対して申し訳ない気持ちだった。せつかくの天徳島のキャンプ。たった六人の参加者なのに仲違いしているなんて、主催者<sup>しゅさいしや</sup>のタカさんとしては残念な気持ちだろう。

おれは心のなかで、大丈夫だよとつぶやいた。子どものケンカに大人が出ると、さらにややこしくなることは、これまで<sup>⑩</sup>の経験上わかっている。念力<sup>⑪</sup>が通じたのか、タカさんは小さくうなずいて、おれたちを送り出してくれた。

問一

線①とありますが、ここでの「ため息」には、どのような感情がこめられていますか。適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、心配      イ、緊張<sup>きんちよう</sup>      ウ、尊敬      エ、失望

( 椰月美智子 『14歳の水平線』 双葉社 )

155

150

問二

—— 線②とありますが、この時の加奈太の気持ちの説明として適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、サッカー部トリオによるいたずらに怒りもせず感じ入っている光圈に対し、受け止め方の違いに半分あきれている。

イ、サッカー部トリオによるいたずらを尊敬すべきこととして考えている光圈に対し、物も言えないほど驚いている。

ウ、サッカー部トリオのいたずらに動じない光圈に対し、自分もそのような楽観的な考え方ができればどうらやましく思っている。

エ、サッカー部トリオのいたずらに感激する光圈に対し、怒りも収まり、いたわる気持ちになっている。

問三

—— 線③、④とありますが、これらの様子から加奈太はどのような少年だと思われるか。適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、面倒なトラブルはなるべく遠ざけ、そこから逃げたいと思う少年。

イ、自分が一歩下がってもむだな争いはしたくないと思うような少年。

ウ、誰かと対決しなければなくなると、つい弱気になってしまう少年。

エ、自分が中心になりたがるが、かなわない時はすぐに手を引いてしまう少年。



問四

~~~~~線 a c の本文中の語句の意味として適当

なものそれぞれ次から一つ選び、記号で答えなさい。

a 言いがかり

ア、身勝手な文句

イ、相手をおとしいれる悪口

ウ、独りよがりな発言

エ、相手をいましめる言動

b 無邪気

ア、素直で悪気がないこと

イ、考えが足りないこと

ウ、感動をうまく伝えられないこと

エ、真面目で簡潔なこと

c まんざらでもない気分

ア、緊張した気分

イ、おどろきあきれる気分

ウ、必ずしも悪くない気分

エ、評価されず悲しい気分

問五

——線⑤、⑥とありますが、サッカー部トリオ

が加奈太に向ける態度として適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、加奈太に敵対する気持ちを抱きつつ、終始嫌が

らせをしたり馬鹿にしたりする態度。

イ、加奈太にライバル心を抱きつつ、同じサッカー経

験者として絶対に負かしてやるという態度。

ウ、加奈太に仕返しをしてやろうとする気持ちを抱き

つつ、自分たちの怒りをサッカーボールにぶつけ

ている態度。

エ、加奈太に今までのことを謝りたい気持ちを抱きつ

つ、だからといって行動には移せていない態度。

問六

——線⑦とありますが、ひゆ比喩を使って表現した

部分を本文中から十一字でぬき出しなさい。

問七 ——— 線⑧とありますが、同じ意味として「率」

の字が使われている適当なものを次から一つ選び、  
記号で答えなさい。

ア、率直    イ、軽率    ウ、比率    エ、引率

問八 ——— 線⑨とありますが、光圈の様子とその光圈

に対する加奈太の見方として、適当なものを次から  
一つ選び、記号で答えなさい。

ア、排水口の掃除をうれしそうにおこなう光圈に対し  
て、異常な存在として見ている。

イ、排水口の掃除をいやいやおこなう光圈に対して、  
かわいらしい存在として見ている。

ウ、排水口の掃除を寂し<sup>さび</sup>しそうにおこなう光圈に対して  
かわいそうな存在として見ている。

エ、排水口の掃除を積極的に行う光圈に対して、あり  
がたい存在として見ている。

問九 ——— 線⑩とありますが、加奈太の気持ちの説明

として、適当なものを次から一つ選び、記号で答え  
なさい。

ア、サッカー部トリオと仲良くしたい気持ちがあるに  
もかかわらず、仲良くできないもどかしさを感じ  
ている。

イ、サッカー部トリオと仲直りしたい気持ちを感じつ  
つ、タカさんに対しても謝りたい気持ちをのら  
せている。

ウ、サッカー部トリオと仲良くできていないと感じつ  
つ、タカさんに心配をかけてしまっていると考え  
ている。

エ、サッカー部トリオを目の敵にしていることを、タ  
カさんに気づかれてしまい、あせる気持ちを隠<sup>かく</sup>  
たいと思っている。

問十

—— 線⑪とありますが、このときタカさんが加奈太に言葉をかけるとしたら、どのような言葉になると思いますか。タカさんになったつもりで書きなさい。その際、「サッカー部トリオをどう思っているか。」「加奈太たちをどう思っているか。」「さらに、「念力」の内容がわかるようにしてまとめること。